

## フットサルリーグ少年 2020 における 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(案)

新型コロナウイルス感染症の影響が考えられる状況下において第15回 福井県フットサルリーグ U9/U10 を開催するにあたり、以下を基本方針とする。

- 参加チーム(選手、スタッフ)、競技会関係者(審判員、運営担当者)、保護者、観客の健康と安全を第一に考え、新型コロナウイルスへの感染対策を十分に行う。
- 政府、自治体、上部団体((公財)日本サッカー協会、(一財)日本フットサル連盟、(一社)北信越サッカー協会、福井県サッカー協会)が適時発信する指示に従う。

また、第15回 福井県フットサルリーグ U9/U10 を開催するためには、以下の項目を参加チームおよび競技会関係者が理解し、実行できることを条件とする。

- ① 競技会が開催される自治体、大会会場の方針に従うこと。
- ② 参加チームの選手全員が試合に向けたコンディションが整っていること。
- ③ 参加チームおよび競技会関係者が日頃より「新しい生活様式」に従って感染対策を実践していること。
- ④ 競技会会場において運営担当者(県協会または連盟が補助する)が十分な感染防止対策を実行できること。

以下、競技会開催において留意すべき事項、準備すべきポイントを記載する。参加チームおよび競技会関係者は、これを『ガイドライン』として競技会・試合運営/チーム運営を行うこと。

### 1. 日常のチーム活動におけるガイドライン

- ・チームは日頃から選手の健康管理に努めること。
- ・日頃の活動から3密を避ける行動をとること。
- ・練習時以外はできる限り集まらずに、ミーティングも人との間隔を空けて実施すること。
- ・各チームでも日常的に選手の体温や体調を管理すること。熱がある場合はチーム練習参加不可とすること。
- ・チームの練習での飲水、ビブスは他の選手と共有しないこと。
- ・万一、チームから感染者が出た場合には、直ちに運営事務局に報告すること。

## 2. リーグ開催におけるガイドライン

### (1)開催方法

- ・参加チームおよび競技会関係者のみの無観客開催とする。
- ・保護者は各家庭1名までとし、声援は行わないこと。(極力、会場に入場しないことが望ましい)
- ・当日は、試合開始1時間前からチーム単位での来場を可能とし、試合後は速やかに退館すること。ただし、準備、運営に携わる者は除く。

### (2)事前対応

運営事務局は、会場において感染防止対策に向けた準備を行うとともに、参加チームに対し、感染防止のために選手・スタッフ・保護者が遵守すべき事項を明確にして事前に連絡し協力を求める。運営事務局および参加チームはそれぞれ感染対策責任者(主と副)を設置し、事前・試合日・事後に相互に連絡を取り合える環境を構築すること。

#### 【参加者への連絡事項】

運営事務局が参加チームおよび競技会関係者に対して事前に求める感染拡大防止のための措置として、以下の項目を挙げる。運営事務局の感染対策責任者は参加チームの感染対策責任者および競技会関係者(事前に申請したメディア等も含む)に対し、以下の項目を競技会開催前に伝えること。

- ① 参加チーム(指導者・選手・保護者、以下同様)および競技会関係者は試合当日に自宅で必ず検温を実施する。
- ② 参加チームおよび競技会関係者はマスクを着用する。但し、試合中の選手の着用は免除する。
- ③ 参加チームおよび競技会関係者は会場到着時に健康観察を行い、体調に少しでも異常がある場合は参加を見合わせるなどの対応を取る。尚、平熱を超える発熱(概ね37.5度以上)がある場合は、自覚症状の有無に関わらず、出場及び会場での活動は認めない。
- ④ 参加チーム(保護者も含む)、競技会関係者は過去14日間のチーム全員の健康状態をまとめた提出用健康チェックリスト※を作成し、各チーム或いは個人で必要に応じ提出できるよう管理すること
- ⑤ 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせること。
  - ・過去14日以内に健康状態に問題(発熱、味覚・嗅覚障害など)がある場合
  - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
  - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
- ⑥ 競技当日の行動や他人との接触状況を記憶しておくこと。(感染者発生時の濃厚接触者特定に必要)
- ⑦ 運営担当の事務局が示す注意事項を遵守すること。
- ⑧ 今後の地域における新型コロナウイルスの感染状況や全国状況等を踏まえて、競技会の安全な実施が困難である場合は、事前及び開催期間中の競技会中止の措置をとることもある。

※提出用健康チェックリスト(別添)には以下の事項を記載し、管理すること。

- i チーム名、チーム感染対策責任者名、感染対策責任者のサイン、競技会名、記入日
- ii 選手、スタッフ全員の競技会 2 週間前から当日までの健康状態、当日の体温

### (3) 競技会会場における感染防止対策

運営事務局は、以下の点に留意して会場の設営、競技会運営を行うこと。競技会会場によって状況は異なるので、会場の担当者とは会話して柔軟に対応すること。

#### 【体育館入口】

- ・無観客試合であることを告知する。(HP、SNS、会場での掲示等)

#### 【諸室】

- ・アルコール消毒液を設置する。
- ・室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等)については適宜消毒する。
- ・換気扇を回し、2つ以上のドアまたは窓を開けっ放しにして、換気状態を保つ。
- ・ドアは、出来る限り開放し、接触感染を防ぐ。
- ・座席を設置する際は 2m 以上間隔をあけ、お互いが正面に座らないよう配慮する。
- ・なるべく大きな部屋を活用し、参加者同士がソーシャルディスタンスを保てるようにする。それが困難な場合は、別室を使うまたは外部にテントを設置するなどの措置を講じる。
- ・ドリンクを冷やすためのクーラーボックスなどによるドブ漬けは行わない。
- ・運営側で喫煙所は設けない。

#### 【トイレ】

- ・手洗い場にポンプ型の液体または泡石鹸がない場合は用意する。
- ・「手洗いは 30 秒以上」おこなうこと
- ・手洗い後に手を拭くためのタオル等を個人で用意する。  
(布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しない)

#### 【ロッカールーム】

- ・基本的にはロッカールームは使用せず、観客席や車等で着替える。  
(ロッカールームは3密が揃うため感染リスクが比較的高いと考えられるため、使用会場の指示に従う)

#### 【ピッチ】

- ・ピッチの出入り口にアルコール消毒液を設置する。

- ・ピッチ上で複数の参加者が触れると考えられる場所については適宜消毒する。
- ・試合に影響のない範囲でドアや窓を開け、換気状態を保つ。
- ・ベンチは設けない。

#### 【共通の伝達事項】

- ・タイムスケジュールについては運営担当の事務局の指示に従う。  
(チーム同士が極力接触しないことが望ましい)
- ・荷物置場、着替えについては運営担当の事務局の指示に従う。  
(ソーシャルディスタンスを保ち、3密にならないような対応)
- ・セレモニーは実施しない(試合前後の選手・審判団との握手、ベンチへの挨拶)。
- ・ピッチ内でも咳エチケットを守ること。
- ・水のボトルを共有しないこと(個人のスクイズボトルまたはペットボトルを準備)。
- ・水・氷を溜めたクーラーボックスを使用しないこと。
- ・タオルを共有しないこと。
- ・原則、倒れた選手に手を貸さない(負傷の場合は除く)。
- ・ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いに十分な距離をとること。
- ・本紙「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に沿って行動すること。
- ・原則、ベンチ内で使用する交代選手用ビブスは、各個人用とすること。

#### 【チームへの伝達事項】

- ・チームミーティングは会場内で3密とならないスペース等で実施すること、その際は、十分な距離を確保すること。
- ・提出用健康チェックシートを提出すること。
- ・円陣はしないこと。
- ・得点時にハイタッチ、抱擁を行わないこと。
- ・役員とスタッフはマスクを着用し、会話を控えること。
- ・ビブスは個別に使用できるよう人数分用意すること。特例としてFPと色が区別できれば、ビブスの2色利用もしくは練習着でも可とする場合もある。
- ・試合会場へは、エントリー選手・スタッフのみ入場すること。
- ・原則、応援(保護者・家族・友人)については自粛とすること。

#### 【審判員への伝達事項】

- ・主審、第2審はマスクなし。会話を最小限に留める。
- ・タイマー等の備品は試合前に消毒する。

#### 【記録、BP への伝達事項】

・試合前に手指消毒した上で、マスク、手袋を着用する。手袋は使い捨てのものを連盟で用意する。  
※上述の伝達事項は、参加チーム、競技会関係者が競技会参加にあたり留意すべき事項でもあります。事務局の感染対策責任者から各チームの感染対策責任者および競技会関係者に事前に伝達する。

#### (5) ゴミの廃棄方法

- ・ゴミを収集する際は、マスクや手袋を必ず着用する。
- ・ゴミはビニール袋に入れて密閉し、廃棄する。
- ・マスクや手袋を脱いだ後は、石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する。

これら(2)～(5)を実施しても感染リスクをゼロにすることはできませんが、参加チーム、競技会関係者は、その点をご理解願います。また、各諸室の窓・ドアの開放、全員へのマスク着用の義務化により、熱中症を発生するリスクが高まりますので、こまめな水分補給等の対応をお願いします。

#### (6) 当日参加チームおよび競技会関係者が体調不良を訴えた場合

当該者は速やかに退館し、病院で受診すること。受診結果を直ちに運営担当の事務局の感染対策責任者へ報告し、新型コロナウイルス感染の疑いがある場合(PCR検査実施)は検査結果も分かり次第報告すること。

#### (7) 事後対応

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、競技会当日に参加チームの選手・スタッフ、競技会関係者から提出された健康管理チェック表を、保存期間(少なくとも1ヶ月)を明記した上で保存しておく。

各チームの感染対策責任者は、競技会終了後3日以内に運営事務局の感染対策責任者へ連絡を取り、具合の悪い選手・スタッフがいらないか報告すること。競技会関係者も同様に報告を行う。万が一、参加チームまたは競技会関係者の中から競技会終了後14日以内に新型コロナウイルスへの感染者が判明した場合は、保健所の指示に従うこと。

#### (8) 参加チーム関係者に新型コロナウイルスの感染者が出た場合

当該チームは、所属県連盟の感染対策責任者に直ちに連絡するとともに活動を停止し、その後の活動については県連盟と協議の上、判断を福井県フットサル連盟に委ねることとする。また、当該チームの感染が確認された日からさかのぼって14日間に対戦もしくは同一会場を使用したチームについては、感染拡大防止の観点から、福井県フットサル連盟の判断により活動を停止することがある。

#### (9) 参加チーム関係者またはその家族が濃厚接触者として特定された場合

当該選手・スタッフに対し、新型コロナウイルス感染者と最後に濃厚接触した日から起算して14日間の活動を停止とする。

(10)大会期間中、会社や自治体等からの通達により参加できなくなった場合

当該チームの参加できない試合は0-3の不戦敗扱いとし、チームへのペナルティはなしとする。

双方が辞退した場合は、中止とする。

運営側(会場の都合)で開催できない場合は、延期または中止とする。

#### 4. レギュレーション

感染者が出た場合・・・チーム関係者に感染者が出た場合、以後2週間分の試合を中止とし、その後の対応は理事会で検討の上、状況に応じて判断する。

緊急事態宣言が出た場合・・・緊急事態宣言もしくは緊急事態宣言に準じる宣言が出た場合、その後の対応は理事会で検討の上、状況に応じて判断する。

以上